

いじめの問題に関する県独自調査の結果概要について

平成29年度「いじめの問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び公立学校の取組状況に係る調査」（9月調査）結果概要

1 調査対象

各市町等教育委員会

公立小学校（356校） 公立中学校（154校） 義務教育学校（1校）

特別支援学校（17校） 県立高等学校（68校）

2 調査方法

各学校及び市町教育委員会への質問紙による調査

3 調査結果の概要

(1) いじめの認知件数（年度当初からから9月末まで）

（単位：件）

	小学校等	中学校等	高等学校	特別支援学校	計
H28(9月末現在)	1,380	513	106	4	2,003
H29(9月末現在)	1,137	445	80	8	1,670
H29－H28	▲243	▲68	▲26	4	▲333

※義務教育学校の前期課程は小学校等に、後期課程は中学校等を含めています。

（参考）平成28年度（年間）のいじめの認知件数〔公立小・中・高等学校、特別支援学校対象〕（単位：件）

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
H28年度	1,766	673	158	9	2,606

（平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果より）

(2) 学校の取組状況（義務教育学校は小学校等を含めています）

【情報モラル教育の実施】

（単位：％）

	小学校等	中学校	高等学校	特別支援学校	全体
H28	98.1	98.1	100.0	100.0	98.4
H29	95.8	98.7	100.0	100.0	97.1
H29－H28	▲2.3	0.6	0.0	0.0	▲1.3

【いじめや暴力行為等に関するきまりや、対応の基準を明確にしたものを、保護者や地域住民等に公表し、理解と協力を得るよう努めた学校】（単位：％）

	小学校等	中学校	高等学校	特別支援学校	全体
H28	91.6	95.5	100.0	100.0	93.8
H29	94.7	96.8	100.0	100.0	96.0
H29－H28	3.1	1.3	0.0	0.0	2.2

【学校のいじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置づけ、達成状況についての評価を行った(行う予定の)学校】 (単位:%)

	小学校等	中学校	高等学校	特別支援学校	全体
H29	98.0	97.4	100.0	100.0	98.2

【児童生徒が自主的にいじめの問題について考え、議論すること等のいじめの防止に資する活動を行った(行う予定の)学校】 (単位:%)

	小学校等	中学校	高等学校	特別支援学校	全体
H29	87.7	80.5	83.8	64.7	84.7

(3) 市町教育委員会の取組状況

【研修の実施等】

(29市町)

	いじめの問題について指導上困難な課題を抱える学校がある	いじめの問題に関する教員を対象とした研修を実施している	いじめの問題に関する、指導の充実のための教師用手引き書等を作成している
H28	7	20	8
H29	10	19	10
H29-H28	3	▲1	3